

75歳以上の高齢者と、子どもの医療費を無料にすることを求める請願

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

生活が大変な上に、医療費の負担が重くて安心して医療を受けられない事態がひろがっています。外来でも入院でも3割もの患者負担をとられるのは、先進国の中でも日本だけです。公的医療制度のある国では、窓口負担は無料か、少額の定額制です。

高い保険料を払った上に、いざとなったら負担が重くて医療を受けられないというのでは公的医療保険とはいえません。高すぎる医療費負担についてはただちに軽減に踏み出し、ゆくゆくは窓口負担無料の日本をめざすべきです。

その第一歩として、75歳以上の高齢者と、子どもの医療費の無料化を求めます。

75歳以上の高齢者の医療費無料化で、長生きを喜べる社会をつくりましょう。国の制度として就学前までの医療費を無料化し、すでに子どもの医療費の独自助成を行っている多くの地方自治体では、さらに無料化の対象をひろげるようにします。

これまで政府は、社会保障予算を毎年2200億円も削減し、医療・福祉を犠牲にしてきました。年齢で差別する世界に例のない「うば捨て」の「後期高齢者医療制度」がつけられたのも医療費削減のためでした。これを転換させ、医療への不安をなくすことは、安心してくらす社会をつくり、経済を活性化させる力ともなります。

2つの無料化に必要な財源は1兆1500億円で、09年のバラマキ補正予算の約8%にすぎません。国の浪費を改め、大企業・大資産家に応分の負担を求めれば財源は確保できます。

請願項目

- 一、 国の制度として、75歳以上の高齢者の医療費無料化と、就学前までの医療費無料化を実施すること。

氏 名	住 所

取扱団体 (日本共産党)